

# プロジェクト名：千葉県君津市沿岸における鉄鋼スラグを用いた地盤改良技術による海藻藻場造成（千葉県漁業協同組合連合会、君津市、日本製鉄株式会社）

## ◆プロジェクト概要

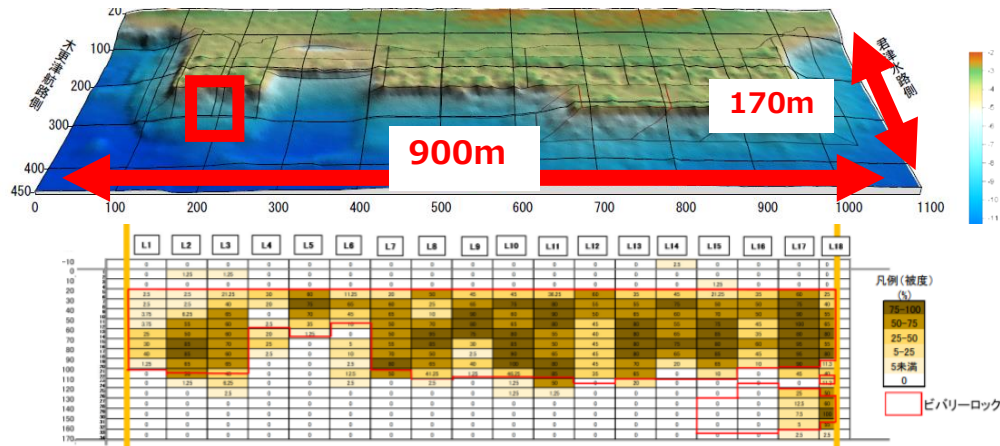
千葉県漁業協同組合連合会（千葉漁連）、君津市、日本製鉄（日鉄）は、共同で日鉄社製の鉄鋼スラグによる地盤改良技術（カルシア改質土）と鉄鋼スラグ人工石（ビバリー® ロック）を用いた浅場造成を実施し、ワカメを移植することで、2024年春に3.956haのワカメ藻場を造成しました。なお、ワカメ移植は2011年11月に浅場造成区内の30m×30m区画においてビバリー® ロックに種糸を結着させて移植したのち移植は行っておらず、最初に移植したワカメを核藻場として、ワカメ藻場が形成されています。

審査により、2023年度分としてワカメ藻場による2.4t- CO<sub>2</sub>の吸収が認定されました。

## ◆プロジェクトPRポイント

本プロジェクトは、2022年度と同様に、千葉県漁連、君津市、日鉄は3者共同でワカメ藻場の創出に取り組みました。

千葉県漁連による指導・調整、2021年9月に環境グリーン都市（ゼロカーボンシティ）宣言を行った君津市による造成浅場の資産管理、日鉄の資材・調査、を行うことで、CO<sub>2</sub>吸収源の新規創出、海底のくぼ地の埋め戻しによる水環境の改善（硫化物量の低下、貧酸素水塊の曝露低減など）、およびワカメ藻場の造成による漁場の復活、を目的とした藻場の造成を実施できました。



←図1.  
2021年の海底地形図。  
四角枠は2011年ワカメ  
移植場所。

←図2.  
2024年4月のワカメ  
藻場被度調査結果。1  
メッシュは  
10m×50m。



図3. 2024年春に撮影したワカメ藻場の様子。